

長等の防災

2020年10月20日発行

第5号

ながらまち協自主防災会

発行責任者 山本一男



ながらまち協自主防災会

部会長 山本一男

平素は自主防災会の事業に対しまして、ご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

本年度は皆様ご承知のように新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は初めての経験になります。書面決議にて開催させて頂き、それぞれの議案すべて可決承認を頂きました事を御礼申し上げます。

また11月に開催予定の長等学区自主防災訓練も、本年度は中止という決定をさせて頂きました。この事につきましてもご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今現在（9月中旬）新型コロナウイルス感染者は減少傾向ではありますが、秋に向けてまだ予断を許さない状況かと思えます。

さて、今年も九州地方に大型台風9号・10号が接近し多大なる被害が出てしまいました。被災者の皆様に、あらためてお見舞い申し上げます。私達が暮らす津市にも、いつ何時大型台風・豪雨災害また地震が起こるかわかりません。命に関わるような災害の時は、「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、避難する事を優先して頂きたいと思えます。

津市ホームページの「新型コロナウイルス感染症関連 災害時における避難所での感染症対策について」（避難行動判定フロー）では次のように書かれています。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時に危険な場所にいる人は避難する事が原則です。ただ安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。避難先は、指定の小中学校・公民館・公共施設だけでなく、安全な親戚・知人宅等に避難する事も考えてみましょう。自分で用意できるもの（マスク・消毒液・体温計等）があれば携行してください。指定緊急避難場所及び指定避難場所をホームページなどで確認してください。

この広報誌にもハザードマップなどの情報を掲載しているので、ご覧になってください。

自主防災会は今後も環境の変化や生活様式の中、安心安全なまちづくりのため努力して参ります。コロナ禍のなか、皆様が日々の生活を無事過ごされる事を心よりお祈り申し上げます。

令和2年度総会書面決議により実施

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の総会は4月に書面決議を行いました。

各地域自主防災会長・防火委員等から書面表決書を提出いただき、昨年度の決算や今年度の事業計画・役員・予算等が承認されました。

11月の自主防災訓練は中止します！

避難所における感染防止対策など、コロナ禍においても災害への備えはますます大切になっていますが、多くの皆さんが体育館などに集まって行う訓練は感染リスクが避けられないため、11月8日に予定していた学区自主防災訓練は中止します。

今回の自主防災会広報誌「長等の防災」には以下の内容を掲載しています。いずれも津市のホームページに公開されているものですが、今一度防災マップでご自身のお住まい箇所の状況をよく把握していただき、普段から避難の方法など各自でよくご検討くださいますようお願いいたします。

2ページ 知っておくべき5つのポイント

3ページ 避難行動判定フロー（津市版）

4・5ページ 津市防災マップ（長等学区その1）

6ページ 防災マップ掲載情報の説明について

7ページ 避難情報のポイント

8ページ 避難情報のポイント解説

**防災マップは保存いただいて、
ご活用ください。**

掲載の防災マップでは学区の北西端と南端が欠けていますが、紙面の都合のため、ご了承お願いいたします。必要な場合は、津市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は
避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行して下さい。
- 指定緊急避難場所及び指定避難所をホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。



今のうちに、 自宅が安全かどうかを 確認しましょう！



ハザードマップ

検索

避難行動判定フロー（大津市版）

スタート！

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）が出たら、避難に時間がかかる方は**安全な親戚や知人宅に避難**し、それ以外の方は**避難の準備**をしましょう

避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）が出たら、避難に時間がかかる方は**指定緊急避難場所**に避難し、それ以外の方は**避難の準備**をしましょう

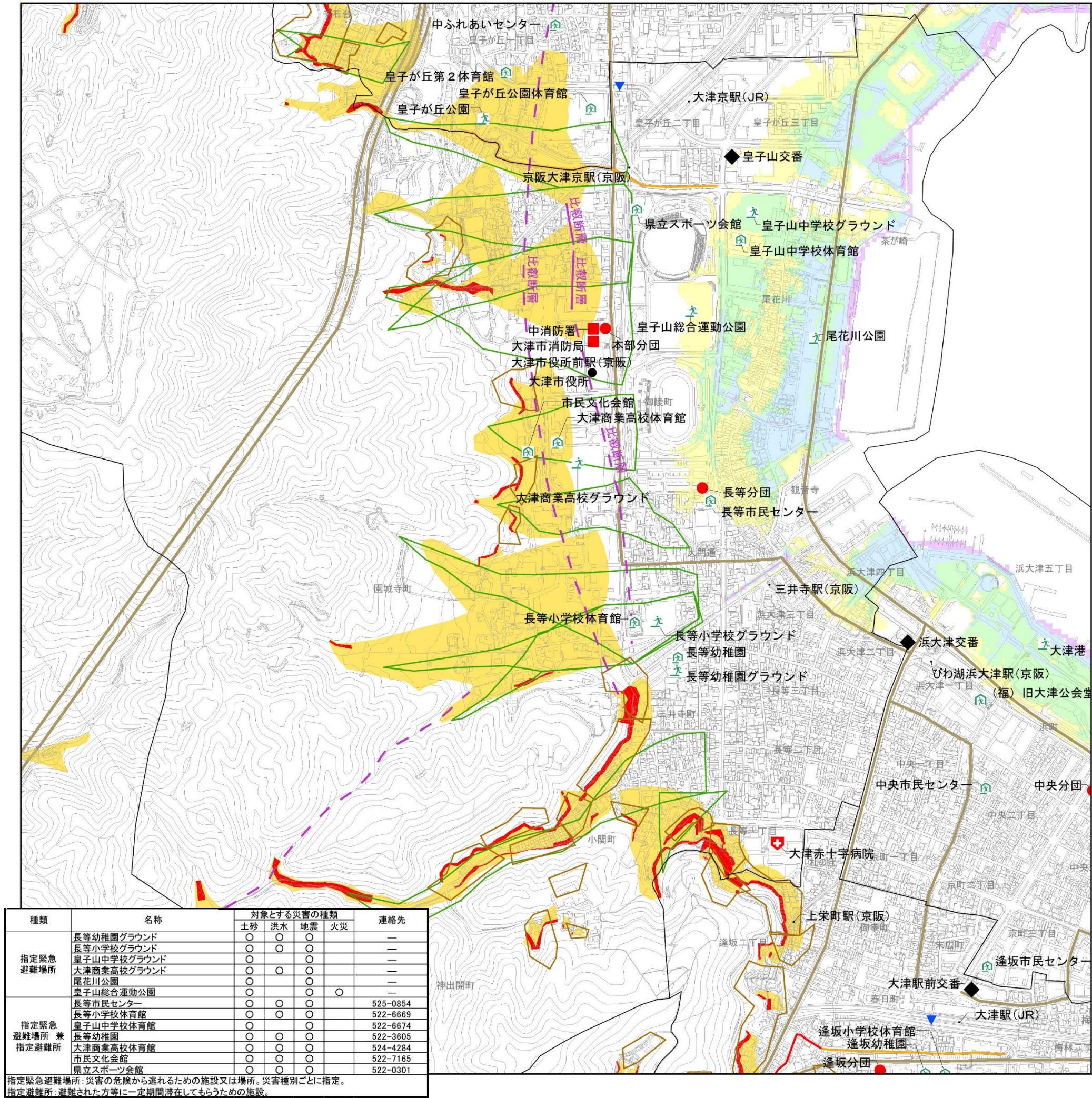
安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

避難勧告又は避難指示（緊急）（警戒レベル4）が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう

避難勧告又は避難指示（緊急）（警戒レベル4）が出たら、**指定緊急避難場所**に避難しましょう



種類	名称	対象とする災害の種類				連絡先
		土砂	洪水	地震	火災	
指定緊急避難場所	長等幼稚園グラウンド	○	○	○		—
	長等小学校グラウンド	○	○	○		—
	皇子山中学校グラウンド	○	○	○		—
	大津商業高校グラウンド	○	○	○		—
	尾花川公園	○	○	○		—
指定緊急避難場所 兼 指定避難所	皇子山総合運動公園	○		○	○	—
	長等市民センター	○	○	○		525-0854
	長等小学校体育館	○	○	○		522-6669
	皇子山中学校体育館	○		○		522-6674
	長等幼稚園	○	○	○		522-3605
	大津商業高校体育館	○	○	○		524-4284
	市民文化会館	○	○	○		522-7165
	県立スポーツ会館	○	○	○		522-0301

指定緊急避難場所：災害の危険から逃れるための施設又は場所。災害種別ごとに指定。
指定避難所：避難された方等に一定期間滞在してもらうための施設。

大津市防災マップ

Otsu Disaster Prevention Map

長等学区その 1

Nagara District 1

防災マップは、地域防災計画や平成16年度に実施した防災アセスメントの調査結果に基づき、地域毎の防災情報を地図上に示したものです。

災害への“危険性”や“安全性”に関する様々な情報を市民の皆さまに知っていただくことで、住民一人ひとりの防災意識を高めていただくとともに、地域の防災活動に役立てていただくことを目的に作成いたしました。

なお、地震や大雨等は、その規模などにより想定外のような被害をもたらします。

場合によっては、避難場所や避難所等が使用できないこともありますのでご注意ください。

防災マップをご覧くださいに際して

- 掲載情報のうち危険箇所等の範囲は、概ねの位置を知るものとしてご覧ください。
- 危険箇所等については被害の可能性がある箇所をお知らせするものであり、確実に災害が発生することや生じる被害を立証するものではありません。
- 学区の範囲は、必ずしも通学区等とは一致しない場合があります。避難される場合は、経路が安全だと判断される身近な避難先を選んでください。
- 土砂災害（特別）警戒区域に関しては、平成31年3月26日滋賀県公示分（第101次指定）まで記載しております。
- 危険箇所等の位置や区域を示すうえで、それぞれの基図となった縮尺は次のとおりです。その縮尺率に相应した情報としてご利用ください。

急傾斜地崩壊危険箇所	1/2,500～1/5,000	土石流危険渓流	1/25,000
地すべり危険箇所	1/25,000	地すべり防止区域	1/20,000
土砂災害（特別）警戒区域	1/2,500	重要水防区域	1/100,000
重要水防ため池	1/5,000	特に重要な水防区域	1/100,000
		浸水想定区域	1/30,000

令和元年(2019年)8月 大津市

指定緊急避難場所
Emergency Evacuation Area

指定緊急避難場所兼指定避難所
Emergency Evacuation Area and Evacuation Shelter (for temporary stay)

指定避難所
Evacuation Shelter (for temporary stay)

消防署
Fire Station

消防分団詰所
Fire Brigade Station

警察
Police Station

医療施設(病院)
Medical Facility (Hospital)

アンダーパス等
Underpass

浸水想定区域
Assumed Water Levels (Flooding)

急傾斜地崩壊危険箇所
Steep Terrain Landslide Hazard Area

土石流危険渓流(影響範囲)
Mudslide Hazard Mountain Stream

地すべり危険箇所
Landslide Hazard Area

地すべり防止区域
Landslide Prevention Area

土砂災害警戒区域
Sediment Disasters Caution Area

土砂災害特別警戒区域
Special Sediment Disasters Caution Area

重要水防区域
Key Flood Prevention Area

特に重要な水防区域
Special Key Flood Prevention Area

重要水防ため池
Key Flood Prevention Reservoir

活断層(確実度Ⅰ)
Active Fault (Risk Factor 1)

活断層(確実度Ⅱ)
Active Fault (Risk Factor 2)

活断層(湖底)
Active Fault (Lake Bottom)

主な避難経路(国道・県道)
Main Evacuation Route

防災マップ掲載情報の説明について(抜粋)

指定緊急避難場所

大規模な地震や火災等の災害発生により、住家が倒壊及びその恐れがある場合、また火災の発生や延焼の恐れがある場合に、住民が一時的に身の安全を確保するために避難する場所です。大津市では学校園のグラウンドや公園などを中心に指定しています。

指定避難所

地震、風水害、火災等の災害発生により、住家が損壊・倒壊、浸水、焼失し、またはその恐れがある場合に、一時的に身の安全を確保し、生活するための施設です。大津市では、学校園(主として体育館や遊戯室)や市民センター(公民館)などの建物を中心に指定しています。

福祉避難所

高齢者や障害者など、災害時、一般の避難所での生活に支障をきたす方を対象に、二次的な避難所として開設する施設です。

医療施設(病院)

市内の病院のうち、救急告示病院を掲載しています。

土砂災害危険箇所と土砂災害(特別)警戒区域について

詳細は大津市ホームページをご参照ください。(下記枠線内を参照してください)

重要水防区域・特に重要な水防区域

重要水防区域とは、洪水時において、決壊、越水等の危険が予想される水防上警戒または防御の必要性を有する箇所、重要水防区域評価基準により河川管理者が指定します。

重要水防区域のうち、特に重要な水防区域(水防上最も重要な区間)をいいます。

活断層(確実度1)

最近数十万年に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層(活断層)で、明瞭な地形的証拠からその位置が特定できるものを掲載しています。

活断層(確実度2)

活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な要因等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないものを掲載しています。

浸水想定区域

浸水想定区域とは、洪水はん濫時に想定される浸水区域を県が指定し、浸水の程度などを示すもので、平成31年3月19日時点の琵琶湖および流入河川の河道・洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨(琵琶湖流域の120時間総雨量555mm、琵琶湖ピーク水位B.S.L.+2.6m)に伴う洪水により琵琶湖が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、流入支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮や内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

瀬田川(国管理区間)では、国が作成する洪水浸水想定区域を表示しています。

上記は大津市ホームページ「防災マップ掲載情報の説明について」よりの抜粋です。全体は大津市ホームページ>暮らし・手続>防災・災害>防災マップ(ハザードマップ)・防災カルテ>防災マップ(ハザードマップ)・防災カルテ>説明>防災マップ掲載情報の説明について、にアクセスしてご覧ください。ここから、別にある「土砂災害危険箇所と土砂災害(特別)警戒区域の違い」へのリンクがあります。こちらも重要な情報ですので、ご確認ください。

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

避難情報のポイント

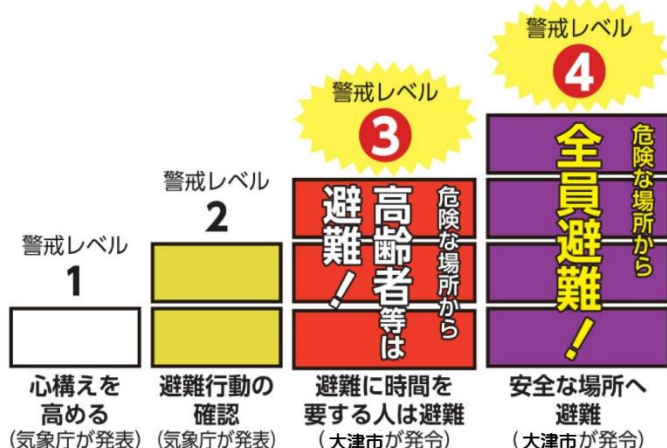
!..... 必ず確認してください !

大津市から出される避難情報(警戒レベル)

❗ **避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。**
安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

❗ **危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者などは避難〉、警戒レベル4で〈全員避難※1〉です。**

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル4 避難勧告で危険な場所から避難です

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、大津市が避難情報と合わせて出す情報です。

❗ **警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。**

- 警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
- 警戒レベル5災害発生情報は、大津市が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

❗ **豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。**

❗ **警戒レベル4には避難勧告や避難指示(緊急)※2がありますが、いずれにしても警戒レベル4で避難しましょう。**

- 警戒レベル4避難勧告は立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

※2 警戒レベル4避難指示(緊急)は、必ず発令されるものではなく、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されることがあるものです。

国土交通省・気象庁・都道府県から出される 河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)

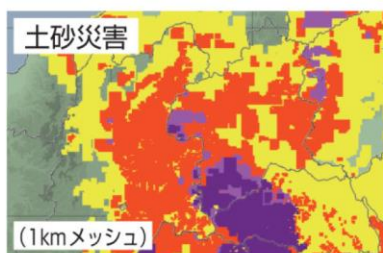
■危険度分布で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報(危険度分布)を確認してください。 紫色は危険度が高いことを示しています。

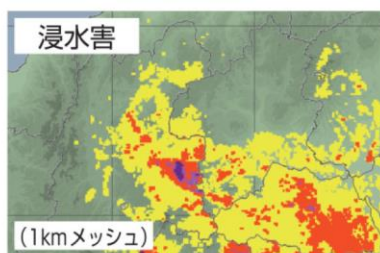
住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

危険度分布

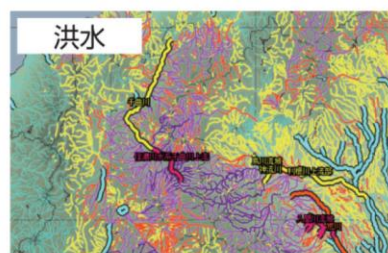
検索



紫：崖・渓流の近くは危険



紫：低地は危険



紫：河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、洪水警報などがあります。

■ **大津市** が出す**警戒レベル**で確実に避難しましょう 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に 早めの避難をしましょう

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報			名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報		
警戒 レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
			浸水の情報(河川)		土砂災害の情報(雨)
5	命を守る最善の行動	災害発生情報	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4	危険な場所から 全員避難	避難勧告 (避難指示(緊急))	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当	氾濫注意情報	——
1	最新情報に注意	早期注意情報	1 相当	——	——

※「避難勧告等に関するガイドライン」の趣旨を変えずに、より分かりやすい表現にしています。

大津市は、**警戒レベル相当情報(河川や雨の情報)**のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に**警戒レベル(避難情報)**の発令判断をすることから、**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。